

陸上競技部

部員数								
	1年		2年		3年		合計	
男子	部員	マネ	部員	マネ	部員	マネ	男子部員	男子マネ
	8		5		8		21	
女子	部員	マネ	部員	マネ	部員	マネ	女子部員	女子マネ
	2	2	1		5	2	8	4

【近年の成績】

2019 年度 三重県高校春季大会

男子 5000m = 優勝・2位 男子 5000mW = 優勝 男子 1500m = 5位

女子 200m = 優勝

2019 年度 三重県高校総体

男子 1500m = 5位・6位 男子 5000m = 6位 男子 5000mW = 2位

女子 200m・400m = 優勝 (以上は東海総体出場)

2019 年度 東海高校総体

女子 400m = 4位

2019 年度 全国高校総体(沖縄)

女子 400m 出場

その他、第7回全国高校選抜大会、2019 U18 日本陸上競技選手権大会

2019 年度東海新人大会、2019 東海高校駅伝に出場

2021年度 三重県高校新人大会

女子 やり投げ 6位入賞 東海高校新人出場(静岡)

2022年度 三重県総合体育大会

女子 やり投げ 6位入賞 東海高校総体出場(岐阜)

女子 七種競技 3位入賞 東海高校総体出場(岐阜)

【活動回数・時間】

月～金:放課後 16:00(17:00)～18:00頃(18:30頃) *木曜はFREE

土、祝:午前中、

日曜日:完全休養(日曜日に試合がある場合は、月曜日を完全休養とする)

【モットー】

- ・陸上競技部員の前に、まず人であれ。津高生であれ。
- ・人と比べるな。今、自分がすべきことをしっかり考えよ。
- ・効率化を図り、短い練習時間で学習時間の確保。

【特徴】

- 高校から始める生徒も多い。
 - ・そうであっても上記大会で入賞を果たす生徒も数多くいます。
- 個人競技なので自分の目標に合わせて取り組むことができる。
 - ・ほとんどの生徒が3年間で確実に記録を伸ばしています。
- チームとしての雰囲気も良く、毎日和気藹々と練習に励んでいる。
 - ・個人競技であっても集団で行動している自覚があり、一丸となって取り組んでいます。
- 男女問わず上級生が下級生の面倒をしっかりと見る体制。
 - ・初心者でも問題なく始められる理由はここにあります。
- 体だけでなく頭を使って取り組んでいる。
 - ・他クラブや他校の陸上競技部と比べて、練習時間は決して多いとは言えません。現状よりも時

間を延ばすことは可能ですが、それよりも効率化を図り、集中力を高め、理論的に技術力を向上させられるよう取り組んでいます。それは学力の向上にもつながりますし、卒業生もそのような取り組みを経て進学し、活躍しています。

【写真】



2022. 6. 30 更新